

緑が丘

学校教育目標

自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校

学校通信 NO.4

令和4年7月1日

感謝の気持ちをもって次のステージへ

6月4日(土)には、晴天の下、第47回体育祭を開催することができました。熱中症を心配していましたがさわやかな風が吹き抜け、朝は肌寒いくらいの天気でした。全校生で迎える3年ぶりの体育祭。生徒の全力で競技に取り組む姿に感動しました。特に全校生による緑中ソーランは圧巻で、その迫力に身震いがしました。素晴らしい団結と見事やり切った緑が丘中生徒に賛辞を送ります。



体育祭を終えて（3年生）

今回の体育祭で私が感心したことが2つあります。1つ目は考えて動く生徒の姿です。これまでは予行を行い、事前にシュミレーションを十分していたので、生徒は自分が何をするのか分かったうえで体育祭に臨んでいました。しかし、今年度はそれを行うことができませんでした。スムーズな運営ができるか正直不安でしたが、特に係を担当した生徒は自分で何をすることが必要かを考え、指示を待つのではなくお互いに声をかけあいながら、体育祭の運営をすすめました。また、それに協力する姿も随所で見られました。素晴らしい主体性の育ちを感じました。2つ目は競技に取り組む姿、応援する姿です。勝負にこだわりクラスの友達と協力し全力で競技する姿。クラスのために勝利を目指して駆け抜ける姿。そしてそれを笑顔で応援する姿。勝ったときに喜び、負けた時には悔しがる姿。キラキラ輝いていました。競技中用具が壊れるアクシデントで再レースとなった際もそれを受け入れる余裕・やさしさ。体育祭を全力で楽しむ姿を本当にうれしく、頼もしく思いました。生徒の大きな成長を感じるとともに学校行事の大切さを改めて感じました。



緑中ソーラン

6月18日(土)・19日(日)の陸上競技を皮切りに24日(金)・25日(土)にはその他競技で三木市総合体育大会が開催されました。3年生にとって3年間の部活動の集大成となる大会です。勝っても負けても最後の一瞬まで、一生懸命バストを尽くす、そんな生徒の姿を試合会場でたくさん見ることができました。

試合には必ず勝者と敗者がいます。勝って喜ぶことはもちろん、負けてどれだけ悔しく感じるかはこれまでいかに自分と向き合い、どれだけ練習に真摯に取り組んできたかで決まると思います。試合結果に一喜一憂するのは当然です。しかし、大切なことは、やり切ったと感じられるかを自分に問うこと。そして、今日に至るまで共に汗を流した友、支えていただいた方々に対する感謝の気持ちを持つことです。見事上位大会へ進むことができた人も、残念ながらそれがかなわなかった人も自分をしっかり振り返ることが大切です。そして感謝の気持ちを忘れず、自信をもって次のステージへ進んでほしいと思います。

(校長 西臺 士郎)

6月にはこんなことがありました。

《第1回オープンスクール》

6月20日(月)・21日(火)のオープンスクールに多数ご来校いただき、ありがとうございました。アンケートへのご協力ありがとうございました。



《三木市総合体育大会》

6月24日(金)、25日(土)に三木市総合体育大会〔陸上競技は6月18日(土)、19日(日)]が行われました。

各競技で最後まであきらめることなく持てる力を十分に発揮し大きな成果をあげました。各部活動でみなさんの成長を見ることができました、この成果を学校生活にも活かしてほしいと思います。

◎主な結果(団体優勝)

- ・陸上競技 男子の部
- ・陸上競技 女子の部
- ・卓球 女子の部
- ・剣道 男子の部



7月の行事予定は、保護者専用ページに載せています。